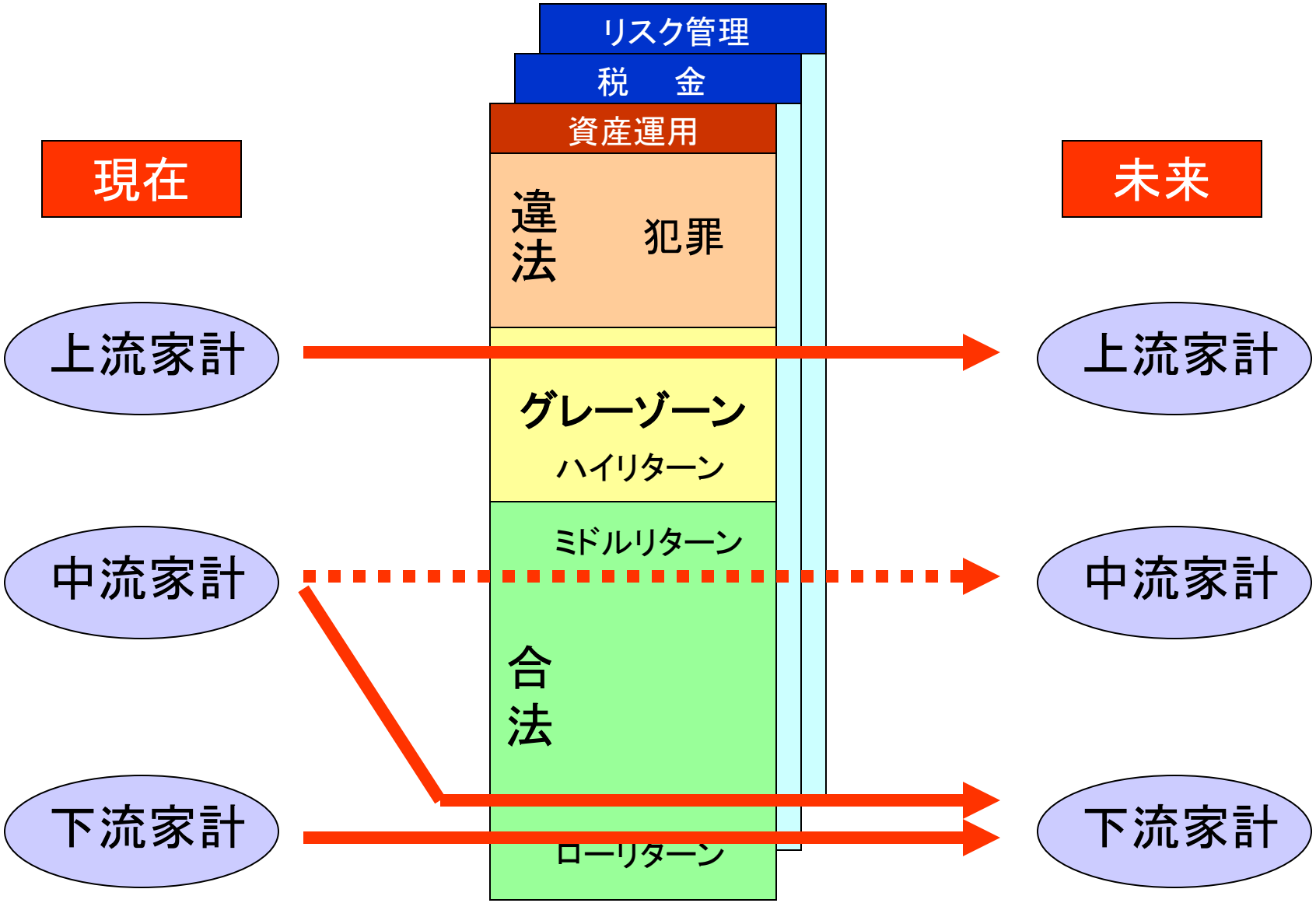

リスク管理
税　金
資産運用
現在
未来
違法
犯罪
上流家計
上流家計
グレーゾーン
ハイリターン
ミドルリターン
中流家計
中流家計
合法
下流家計
下流家計
ローリターン

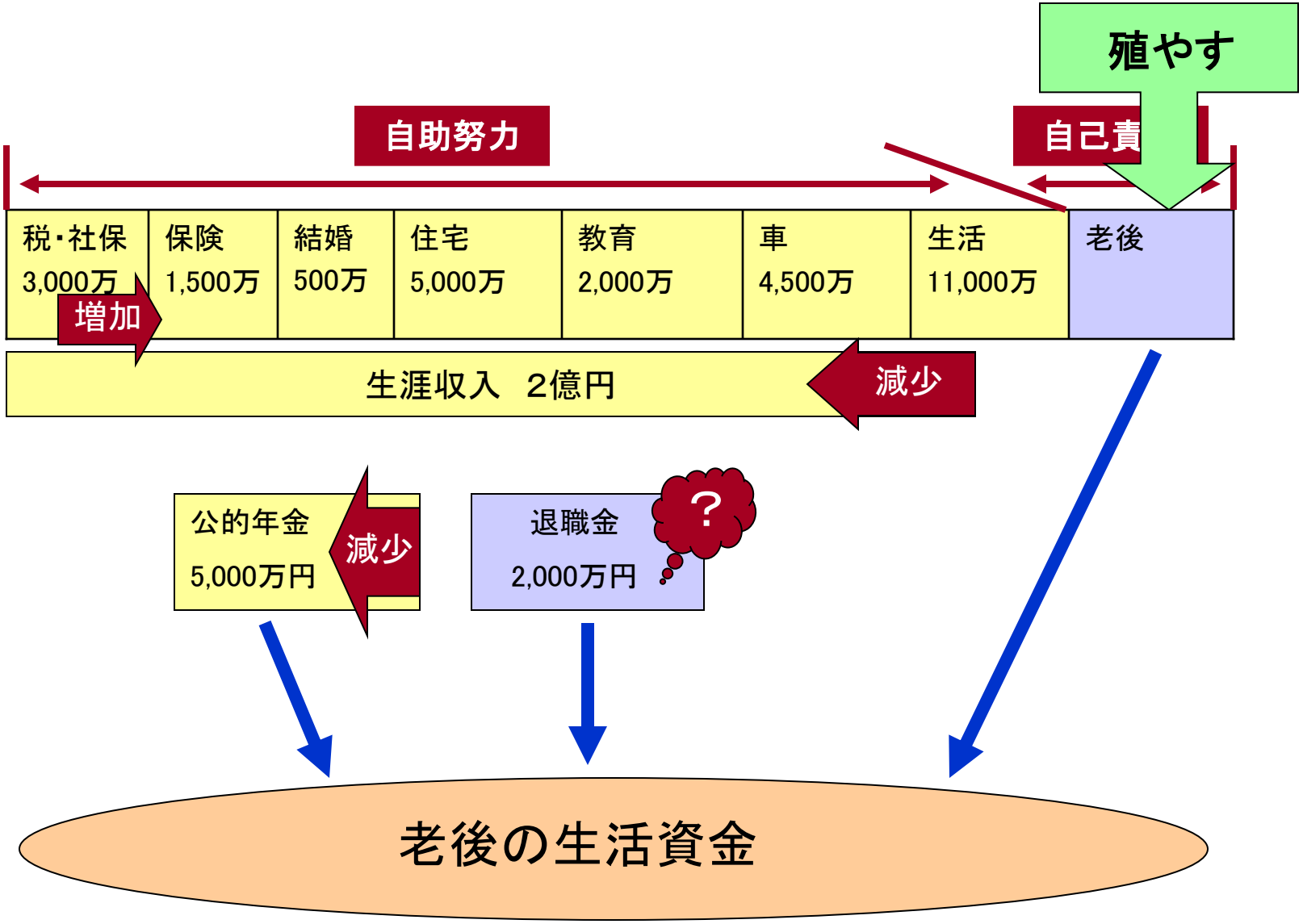
自己責任時代、自分年金を始めよう！
～私の老後資金、どうすればいいの？～

Ⅰ．自分年金の必要性

Ⅱ．金融商品のイロハ

Ⅲ．投資信託の仕組み

ライフプランにおける自分年金の位置付け



自分年金の運用と管理

収支管理（フロー管理）

節税　保険見直し　住宅見直し　家計やり繰り

増　資

自分年金（老後資金）

【お金】
【時間】

投資

お金を働かす

収益

不労所得

資産運用（ストック管理）

金融商品

預貯金　債券　株式

不動産　金

預貯金とは

2005年4月、ペイオフ解禁

１金融機関につき、１預金者あたり元本合計1,000万円までとその利息

保護の対象	保護の対象外
普通預金、当座預金、別段預金、定期預金、定期積立、貯蓄預金、通知預金など ※元本保証のモノ	外貨預金など ※元本保証でないモノ

決済用預金（無利息、要求払い、決済サービス）は全額保護

◆複数の金融機関に預金している場合

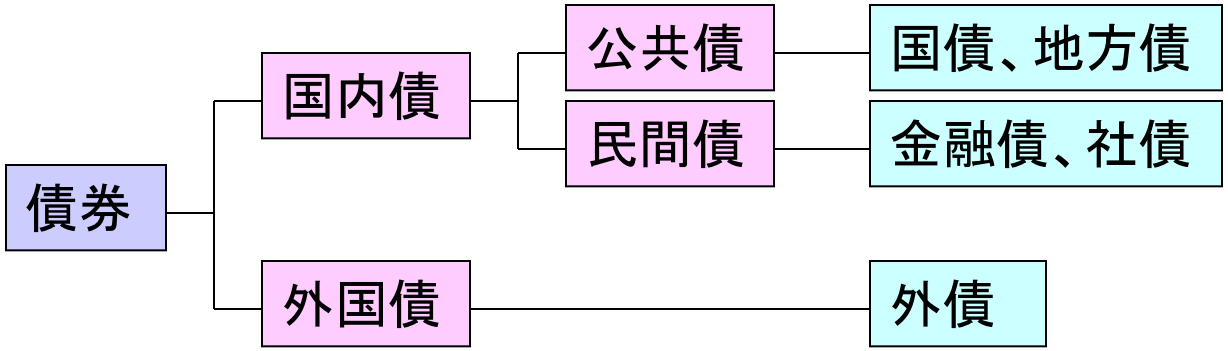
◆金融機関が合併した場合、

◆同じ金融機関の複数の支店に預金している場合

◆同じ金融機関に家族の預金がある場合

◆同じ金融機関に複数の立場から預金している場合

債券とは



利付国債

毎月：2年・5年・10年
隔月：15年・20年
3ヶ月毎：30年・個人向け国債

【個人向け国債】

1万円単位、10年、変動金利（半年毎）

適用金利＝10固定利付国債の金利－0.80％ （最低0.05％）

株式とは

株式（株券）

株式会社に資金を出資 → 将来性のある企業、良い商品やサービスを提供している企業を支援する

株式投資の魅力

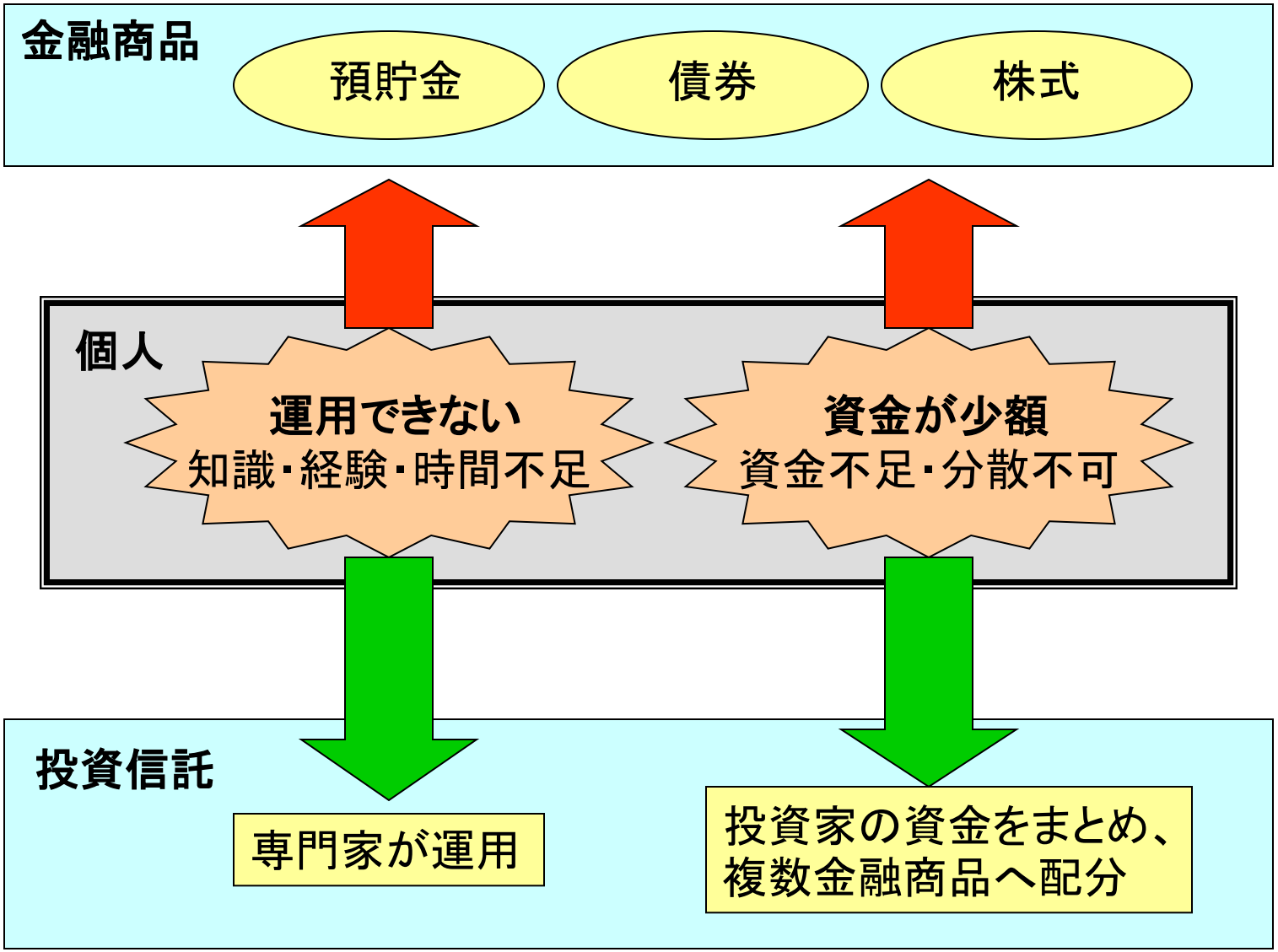
①値上がり益
②配当
③株式分割
④株主優待

売買注文

①銘柄名と証券コード
②株数
③値段（指値、成行）
④売り・買いの別
⑤注文の有効期限（本日限り、今週限り）

※インターネット取引の拡大、コンビニでも可能に！

投資信託とは


金融商品
預貯金
債券
株式
個人
運用できない
知識・経験・時間不足
資金が少額
資金不足・分散不可
投資信託
専門家が運用
投資家の資金をまとめ、
複数金融商品へ配分

投資信託の種類

投資信託（ファンド）

専門機関（投資信託会社）が多くの投資家から資金を集め、これを一つにまとめて大きな資金（信託財産）にして運用する

運用対象

①公社債投資信託　②株式投資信託

購入時期と信託機関

①追加型（オープン型）　②単位型（ユニット型）

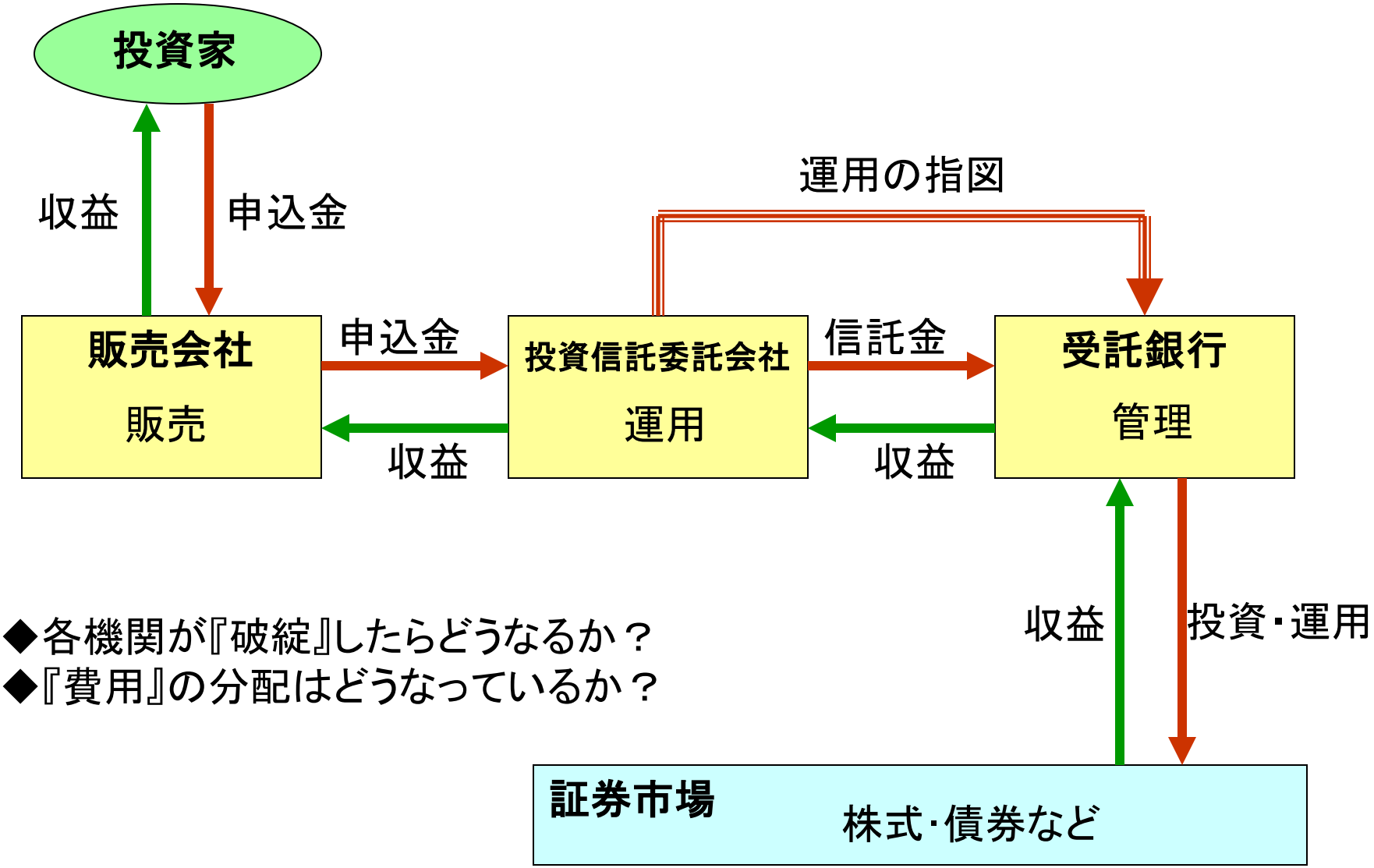
収益の分配

①分配型　②無分配型

費用

①購入時：　販売手数料
②保有期間：信託報酬料
③換金時：　信託財産留保額

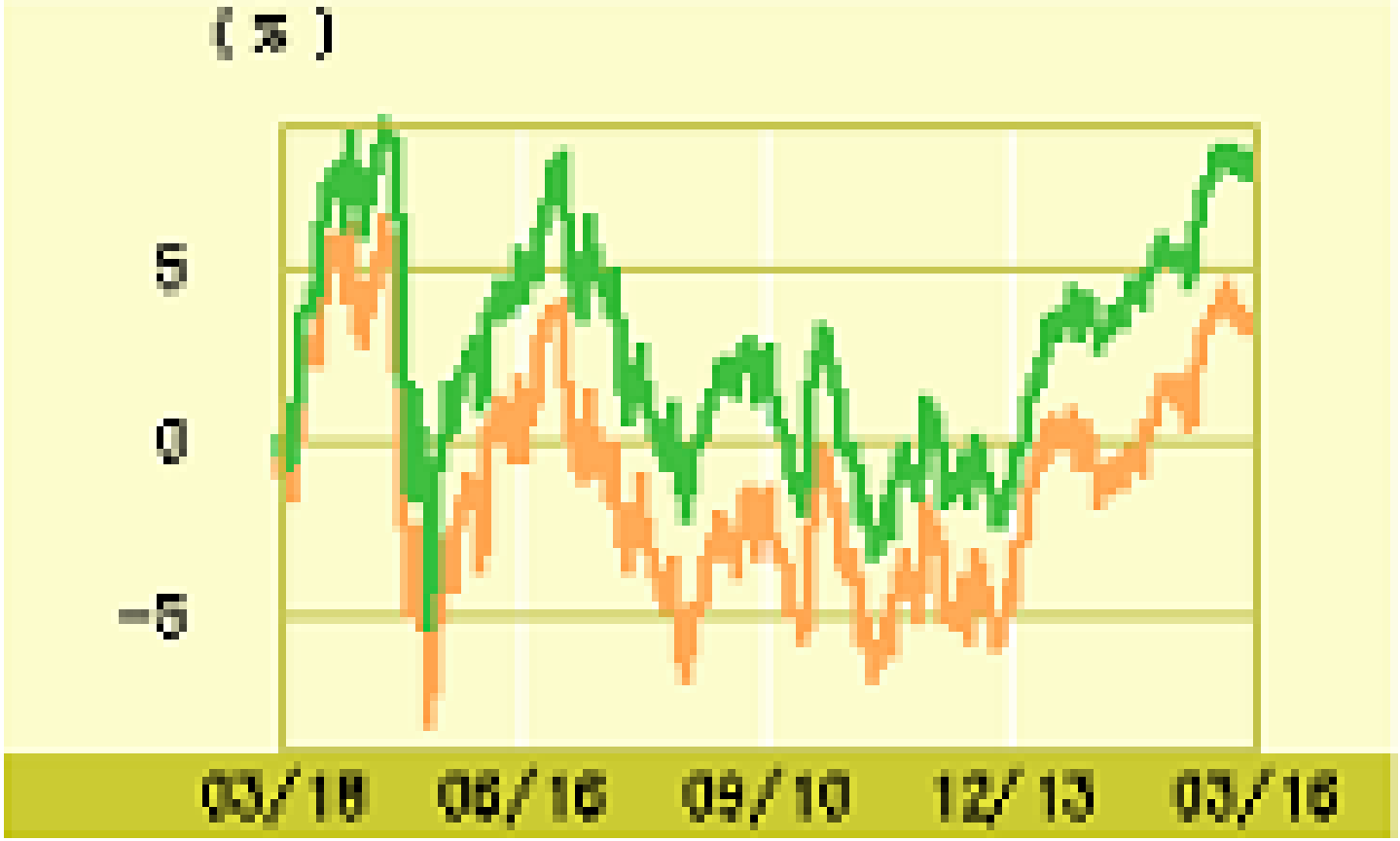
投資信託の仕組み



◆各機関が『破綻』したらどうなるか？
◆『費用』の分配はどうなっているか？

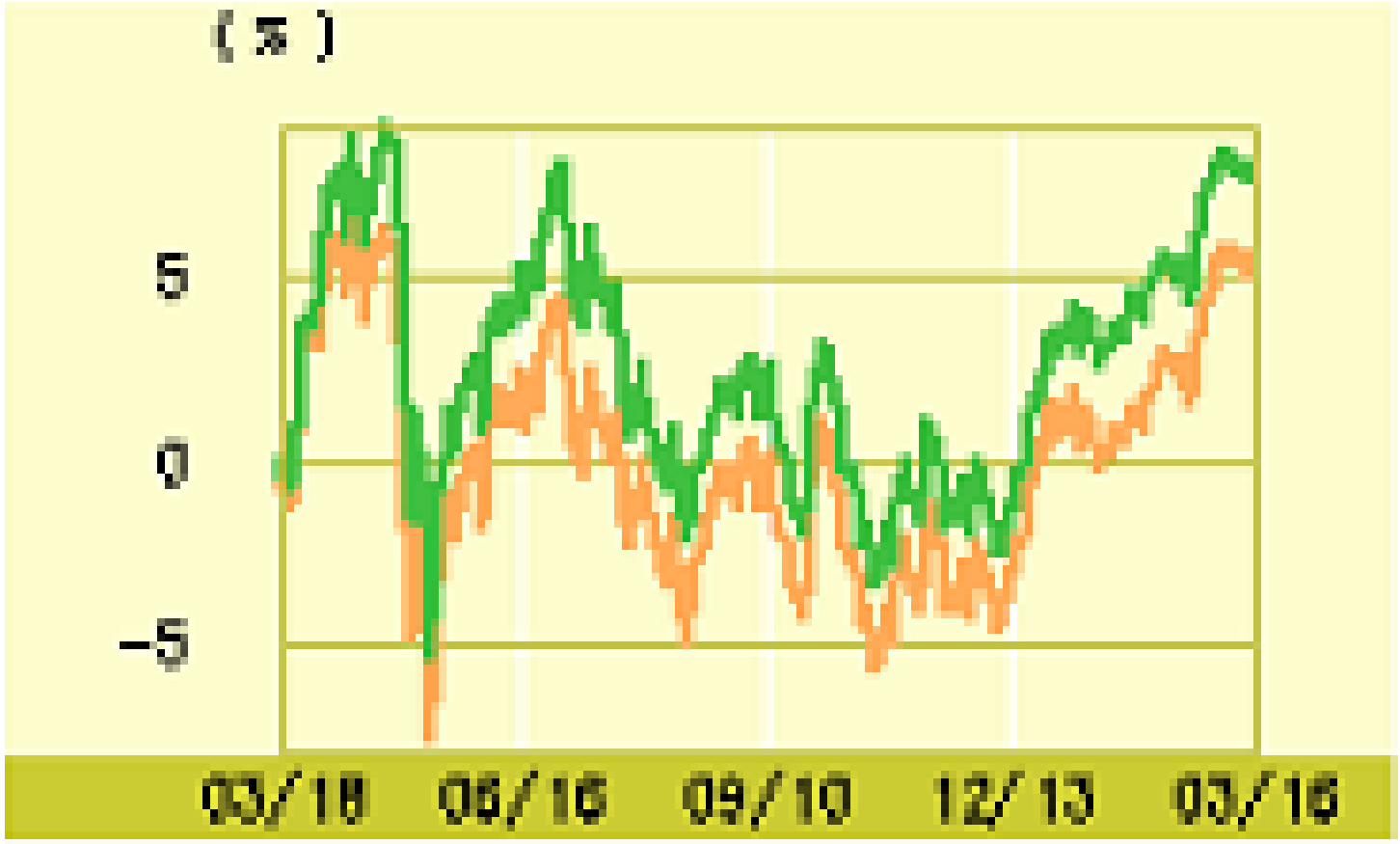
累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス



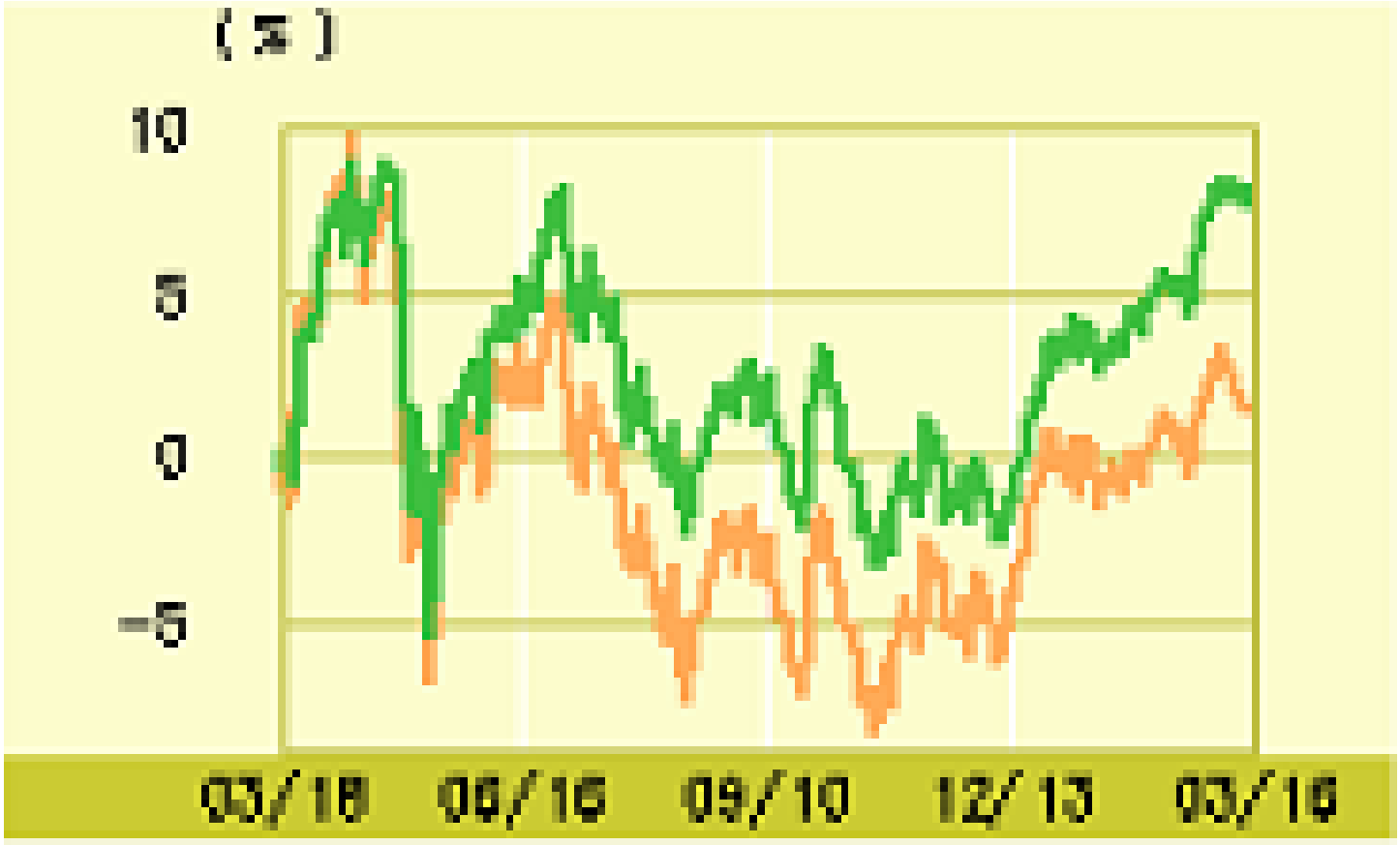
累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス



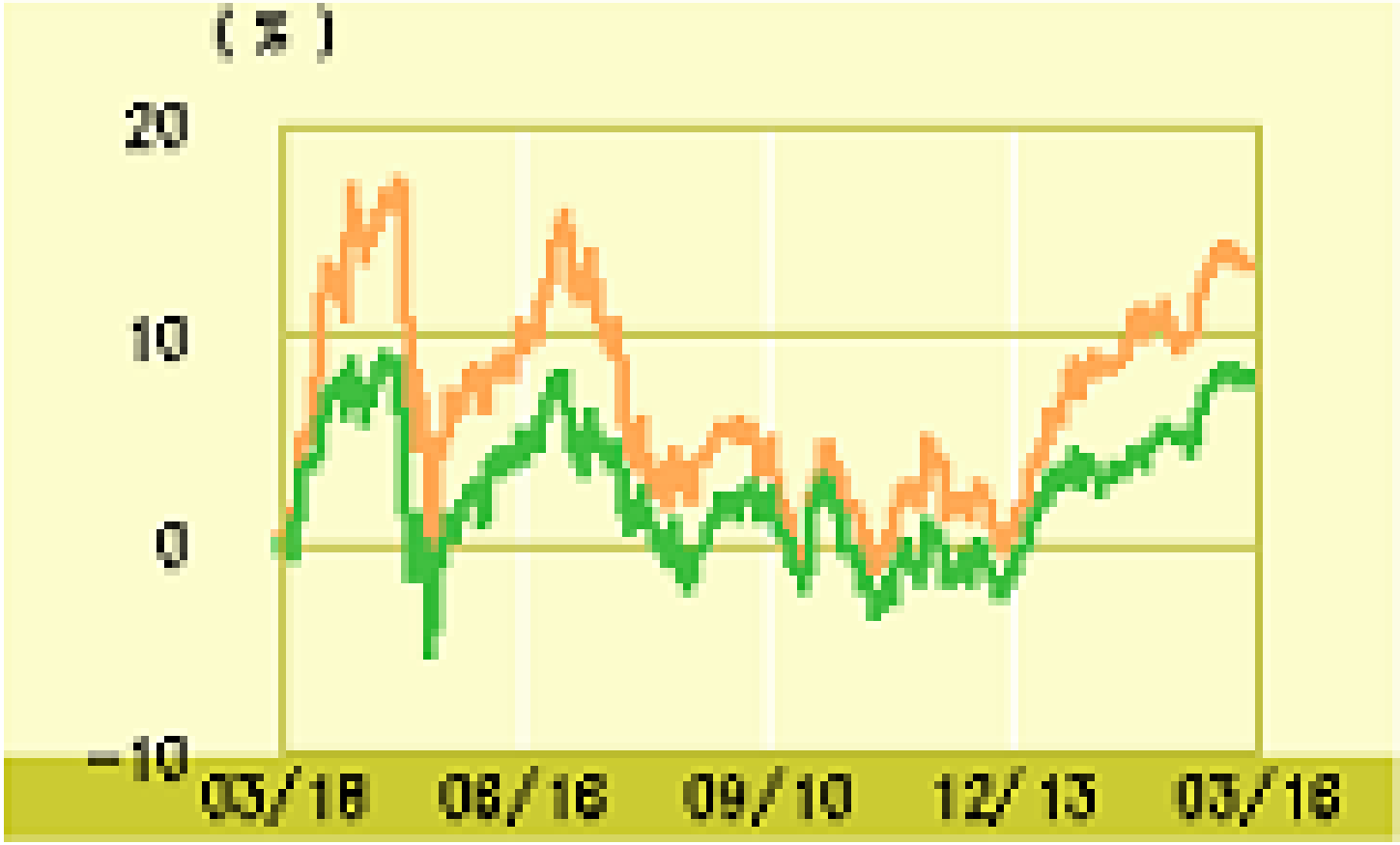
累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス



累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス

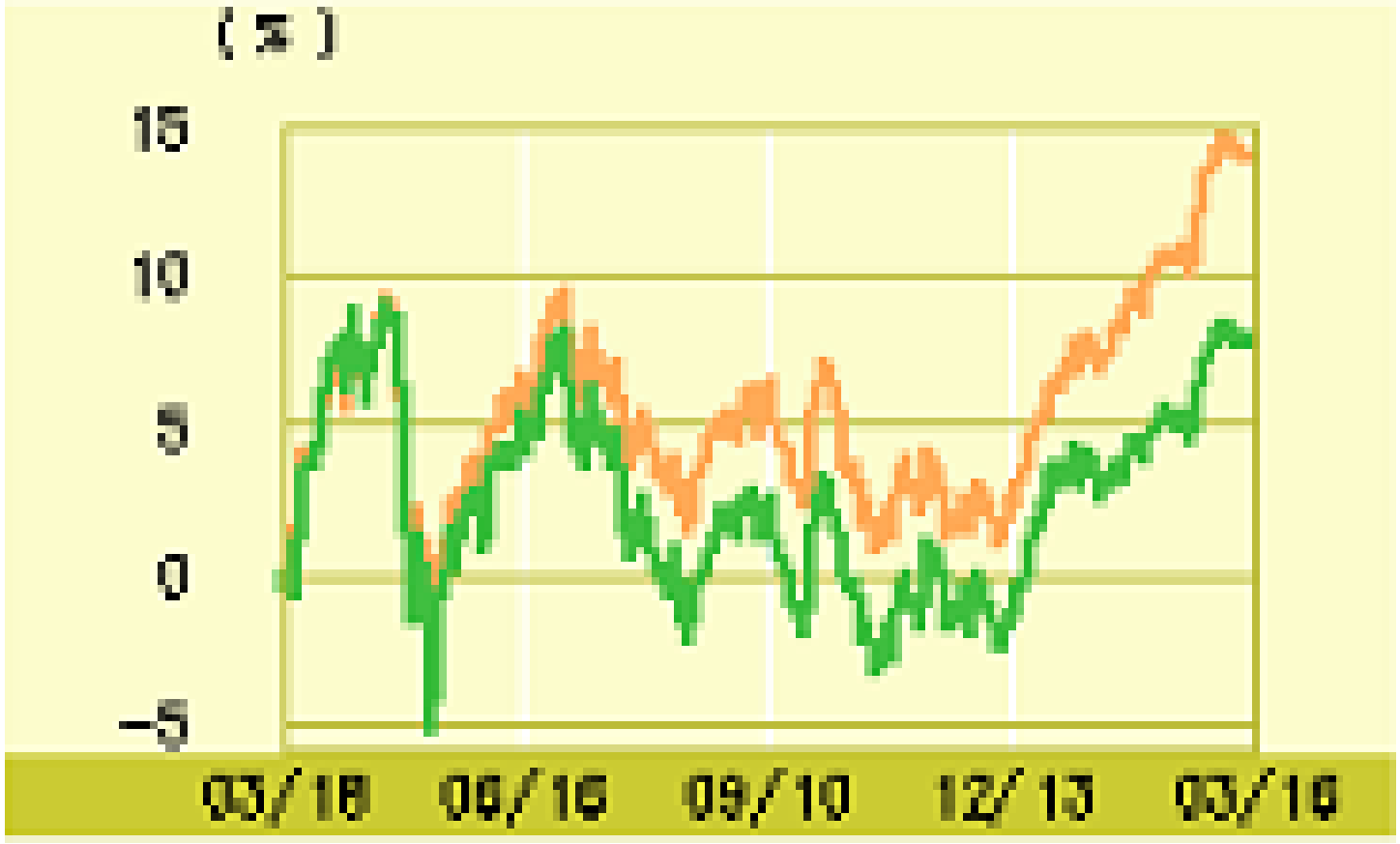


累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス

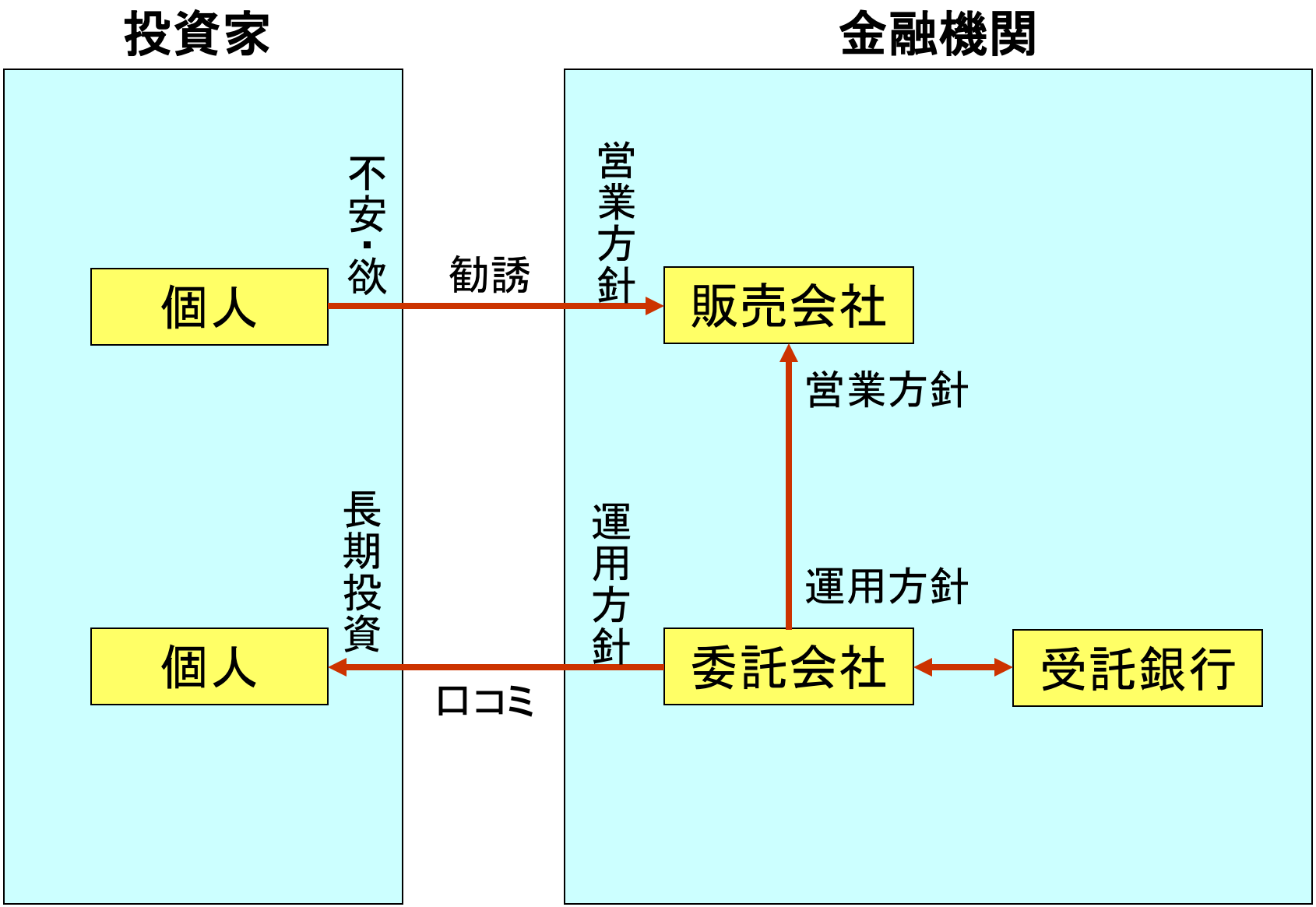
累積収益率グラフ

ファンド　国内株式型インデックス



投資信託と費用

ファンド名称	申込手数料	信託報酬	信託財産留保額
日経225ノーロードオープン	なし	**0.8400%** 委託 0.2835% 受託 0.0840% 販売 0.4725%	なし
DIAM国内株式インデックスファンド＜DC年金＞	なし	**0.2625%** 委託 0.1155% 受託 0.0315% 販売 0.1155%	なし
フィデリティ日本成長株ファンド	なし	**1.6065%** 委託 0.7665% 受託 0.1050% 販売 0.7350%	なし
富士日本成長株ファンド＜DC年金＞	なし	**1.6275%** 委託 0.590625% 受託 0.105000% 販売 0.931875%	なし
ニッセイ日本株ファンド	なし	**1.0500%** 委託 0.4725% 受託 0.1050% 販売 0.4725%	なし
さわかみファンド	なし	**1.00%** 委託 0.53% 受託 0.12% 販売 0.35%	1.5% ※50万円以下の場合は「なし」


投資家
金融機関
個人
不安・欲
勸誘
営業方針
販売会社
営業方針
長期投資
運用方針
運用方針
個人
口コミ
委託会社
受託銀行